

令和5年度 「ハッピー♥スマイル」 第3回開催報告

【日 時】 令和5年9月17日（日）13時～

【場 所】 浅口市金光公民館
1階視聴覚室

【参加者】 保護者15名 子ども2名 医師3名
養護教諭1名 救急救命士1名



1 開 会

2 講演 **演題** 「わかりやすい食物アレルギーの知識と緊急時の対応」

～いざという時に備えてエピペン研修～

講師 林 知子先生（笠岡第一病院小児科）

湯本悠子先生（笠岡第一病院小児科）

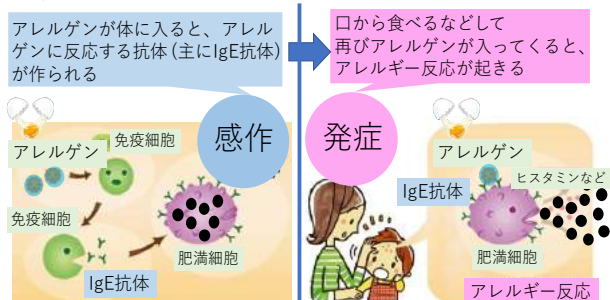


今回は4年ぶりに講師をお迎えして開催しました。林先生は4年前に「ヒヤリハット集で学ぼう食物アレルギー!!」と題して講演頂きました。

今回は食物アレルギーについて発症機序や症状・原因食物・診断・治療などについてわかりやすく教えていただきました。また発症予防やアトピー性皮膚炎、そして即時型以外の食物アレルギーについても幅広く解説して頂きました。

食物アレルギーは免疫が関与する生体反応で、湿疹や蕁麻疹などの皮膚に症状が現れることが多いのですが、呼吸、循環器、消化器にも症状が現れます。アナフィラキシーと言って多臓器に症状が現れると、進行してショックに陥ることもあり、注意深く観察することが大切です。重症になるとエピペン対応が必要となります（湯本先生講演）。最近では食物アレルギーの原因食品に木の実類（主にクルミ）が増加し、1位鶏卵、2位牛乳に次いで3位となり小麦は4位になりました。

IgE依存性食物アレルギーのしくみ



- ①鶏卵
- ②牛乳
- ③木の実類
- ④小麦

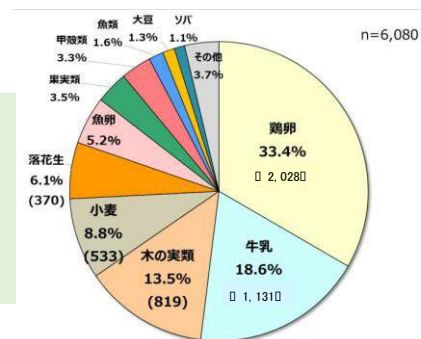


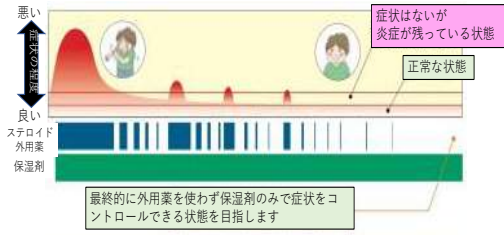
図2 即時型食物アレルギーの原因食物

食物アレルギーの原因はLack先生の提唱する「二重抗原暴露仮説」がPETIT studyやPACI studyなどから実証されてきて広く受け入れられています。アトピーなどの荒れた肌からアレルギー（食物）が侵入することで経皮感作されアレルギーを発症するのです。肌をきれいに保つスキンケアが大切で、乳児期より適切にスキンケアをすることにより食物アレルギーを予防できます。外用療法はプロアクティブ療法が有効です。肌がきれいになってもスキンケアを止めず、少しずつ軟膏を塗る量や頻度を減らしていきます。

薬物療法(外用療法)

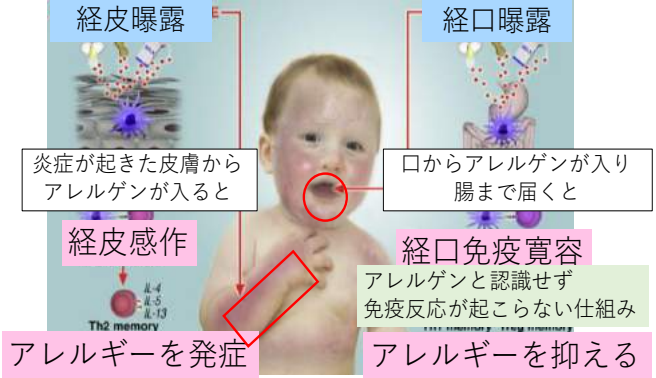
症状の悪化に先手をうつ！ プロアクティブ療法

症状がおさまった後も薬を定期的に塗り続け(週1~2回など)、皮膚の内側に残った炎症を治すのが「プロアクティブ療法」です
症状が再び悪化するのを防ぎながら、少しずつ塗る頻度を減らしていきます



鳥居薬品のHPより

二重抗原曝露仮説



Lack G. JACI 2008;121:1331

SNSが発達していろいろな情報を目にすることが多いと思いますが、信頼できる情報入手することが大切です。

日本アレルギー学会・アレルギーポータル・日本小児アレルギー学会・環境再生保全機構などのホームページがお勧めです。

湯本先生には誤食などによりアレルギー反応など症状が現れた時に、どのように対応したらよいかデモンストレーションを交えて解説して頂きました。

症例提示をしていただき、時間経過とともに適切な対応について解説して頂きました。重症度に応じて内服で様子を見たり、悪化するようならエピペン準備、救急車手配など実地に沿ってわかりやすく解説していただきました。症状が重症なら救急車要請をして迷わずエピペンを打つことが大切です。

期限切れの本物のエピペンで模擬の箱に注射して、実際の針が出ているところも見学しました。その後、エピソードレーターを使い、自己注射の練習を各自しました。ポイントは安全キャップを外す、グーで握る、大腿の前外側に振り下ろさず軽く当てカチッと音がするまで強く押し5つ数えて抜く。オレンジのニードルカバーが伸びていることを確認して、注射部位をもむ。本物のエピペンの針が出ているところを見ることはないので皆さん記憶に残ったことと思います。

一般向けのエピペンの適応

表22 エピペンを使用すべき症状

エピペンが処方されている患者でアナフィラキシーショックを疑う場合、下記の症状が一つでもあれば使用すべきである。		
消化器の症状	• 繰り返した嘔吐	• 持続する強い(がまんできない)おなかの痛み
呼吸器の症状	• のどや胸が締め付けられる • 持続する強い咳込み	• 声がかすれる • ゼーゼーする呼吸 • 犬が吠えるような咳 • 息がしにくい
全身の症状	• 唇や爪が青白い • 意識がもうろうとしている	• 脈を触れにくい・不規則 • ぐたがたしている • 尿や便を漏らす

一般向けエピペンの適応(日本小児アレルギー学会)

アナフィラキシーへの対応



今回は、令和5年11月19日(日)浅口市健康福祉センター2階ボランティア研修室で開催します。情報交換の予定です。多数のご参加お待ちしております。

(浅口医師会 高山晴彦)